

にしわが 福祉だより

編集・発行：社会福祉法人 西和賀町社会福祉協議会
〒029-5614 西和賀町沢内字太田2-81-1
TEL 0197-85-3225 FAX 0197-85-3234
E-MAIL info@nishi-shakyo.net
HOMEPAGE <http://nishi-shakyo.net/>
福祉だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しております。

No.72 2021.3.15



じぶんの町を
良くするしくみ。

令和2年度西和賀町社会福祉大会



令和3年2月13日(土)に銀河ホールにおいて令和2年度西和賀町社会福祉大会並びに第15回西和賀福祉作文コンクール受賞式が開催されました。

例年、西和賀町健康づくり推進大会と西和賀町社会福祉大会は共催してまいりましたが、コロナウイルス感染拡大防止のため、健康づくり推進大会は中止となり、福祉大会及び福祉作文コンクール受賞式は単独の開催となりました。参加人員の制限や、館内の消毒、座席の間隔を空けるなど様々な対応を講じながらの開催に至りました。長年にわたり西和賀町の社会福祉・地域福祉に貢献されました方々、又、作文コンクール優秀者を表彰しました。表彰者は次のページに掲載しております。

令和2年度西和賀町社会福祉大会 受賞者

社会福祉大会長表彰	社会福祉事業貢献者	淀川京子様	(西和賀町母子寡婦福祉協会)
社会福祉大会長表彰	社会福祉事業貢献者	佐々木サト様	(西和賀町母子寡婦福祉協会)
社会福祉大会長表彰	社会福祉事業貢献者	湯沢正様	(社会福祉法人 潤沢会)
社会福祉大会長表彰	社会福祉奉仕・ボランティア活動	藤岡 實様	(川尻二区)
社会福祉大会長表彰	社会福祉奉仕・ボランティア活動	田村 茂様	(社会福祉法人 潤沢会)
社会福祉大会長表彰	社会福祉法人等職員	高橋素子様	(社会福祉法人 西和賀町社会福祉協議会)

第15回西和賀町福祉作文コンクール入選作品

小学校中学年の部

表彰区分	学校名・学年・氏名	題名
最優秀賞	沢内小4年 米澤元気さん	ぼくの大好きなおじいちゃん
優秀賞	湯田小3年 高橋穂成さん	まきわり
優秀賞	沢内小4年 高橋東馬さん	大好きな家族
努力賞	沢内小4年 高橋爽仁さん	ぼくのかぞく
努力賞	湯田小3年 高橋翠さん	お母さんの仕事
努力賞	湯田小3年 深沢蒼粹羅さん	わたしのおじいさん

小学校高学年の部

表彰区分	学校名・学年・氏名	題名
最優秀賞	湯田小5年 高橋風流さん	お父さんの入院
優秀賞	湯田小5年 岩瀬來瑠さん	ぼくの福祉

中学校の部

表彰区分	学校名・学年・氏名	題名
最優秀賞	湯田中3年 高橋遙風さん	障がいを持っていても持っていないなくても
優秀賞	湯田中2年 高橋賀龍さん	小さい町だからこそできること
優秀賞	湯田中1年 高橋空里愛さん	こんなときだからこそ助け合いたい
努力賞	沢内中3年 藤原愛星さん	高齢者社会について考えたとき

高等学校の部

表彰区分	学校名・学年・氏名	題名
最優秀賞	西和賀高1年 高橋里緒さん	伝えたいこと
優秀賞	西和賀高1年 新田輝さん	個性を認める
努力賞	西和賀高1年 高橋虹紗美さん	力をもらって

生活困窮者自立支援事業について

仕事や生活に困っていらっしゃる方、まずはご相談ください。相談窓口では一人一人の状況に合わせた支援プランを作成し、支援員があなたに寄り添いながら他の機関と連携して解決に向けた支援を行います。



①『まずは相談窓口へ』

来所や電話で、支援員が困りごとをお聞きします。窓口まで来られない場合は、ご自宅に訪問してお話を伺います。

②『相談の内容から 適切な対応を判断します』

生活の状況と課題を分析し、自立にむけて寄り添いながら支援します。

③『相談者と一緒に 自立への計画を立てます』

あなたの意志を尊重しながら、自立に向けた目標や支援内容と一緒に考え、あなただけの支援プランを一緒に作ります。

④『生活困窮からの自立を 目標に一緒に取り組みます』

一緒に作ったプランを関係者の話し合いにより決定し、プランに基づいて支援サービスが提供されます。

⑤『定期的なモニタリング』

あなたの状況や支援提供状況を支援員が定期的に確認します。プラン通りに進まない場合は、再プランを検討します。

⑥『目標達成』

相談者が地域の中で社会的・経済的に自立した生活を始めた時点で目標達成となります。

どんな支援が受けられるか？

- ①自立相談支援事業…あなただけの支援プランを作成し、支援します。
- ②住宅確保給付金…失業等により住宅を失った場合、家賃相当額を支給します。生活の土台となる住居を整えたうえで、就職に向けた支援を行います。
- ③就労準備支援事業…ただちに就労が困難な方に、一般就労に向けた基礎能力を養う訓練を行いながら、就労に向けた支援や就労機会の提供を行います。
- ④家計相談支援事業…家計状況を「見える化」し、課題を把握し相談者が自ら家計を管理できるように支援します。など



生活保護を受給している方以外で、生活に困っていて、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある方（生活困窮者）はどなたでも相談できます。年齢に制限はありません。

経済的な問題で生活に困っている方、長く失業している方、引きこもりやニートで悩んでいる方、働いた経験がなく一般就労が不安な方など、どなたでもご相談ください。

教育支援資金

教育支援資金は、高等学校、大学、高等専門学校への就学に際し必要な経費「教育支援費」(授業料、定期代等)と「就学支度費」(入学金、制服・教科書等の購入費)の2つがあります。

○生活福祉資金教育支援資金とは?

低所得世帯を対象に、高校、専門学校、短大、大学への就学に必要な費用を貸付する制度です。

○ご利用できる世帯は?

一定の所得以下であって、必要な資金の融資を他から受けることが困難である低所得世帯の方。

低所得者世帯とは、世帯の収入が概ね市町村民税非課税程度又は、生活保護法に基づく生活扶助算定基準の1.7倍以下の世帯の方。

借入ケース例

- ① 高校、短大、大学、専門学校(専修学校専門課程)へ進学したい。
- ② 授業料、家賃代、通学定期代が足りない。
- ③ 入学金、制服・教科書等の購入費が足りない。
- ④ 高校授業料を納められず進級または卒業ができない。

※世帯の状況に応じて、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援機関等の支援を利用いただくことがあります。



○教育支援資金の種類と貸付額

- 教育支援費～授業料や通学定期代等、修学経費
- 就学支度費～入学金・制服や教材等の購入費

資金種類		貸付限度額	措置期間	償還期間	貸付利子
教育支援資金	教育支援費	高校 月35,000円以内 高専 月60,000円以内 短大 月60,000円以内 大学 月65,000円以内	卒業後 6ヵ月 以内	20年 以内	無利子
	就学支度費	500,000円以内			



さる二月四日に、株式会社東流社（代表取締役社長 芳賀倫一郎様）から、マスク二五箱、ウエットティッシュ二四個、一二〇個をご寄付いただきました。今後事業を行う際、コロナウイルス感染予防の為利用させていただきます。ありがとうございました。

マスク及び
ウエットティッシュ
の寄贈



今年度のスノーバスターズは、第二日曜日を統一活動日として活動を行っています。
今年は記録的な大雪で、二月二四日には二五七cmを記録しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアの受け入れを、町内在住者・町内企業・学校に所属する者と制限を設け取り組んでいます。
二月の統一活動日には、花巻農協湯田沢内支店の十八名の方々が上野々地区・太田地区にてボランティアを行いました。



スノーバスターズ活動記録

未来に伝える避難の目印として看板を設置したい！

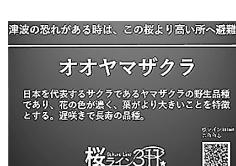
桜ライン311では クラウドファンディングを行っています

桜ライン311とは、東日本大震災で発生した津波の最大到達地点に桜を植樹し、後世に伝え残すための活動です。西和賀町ボランティア連絡協議会では、平成30年・令和元年に桜ライン311に参加し桜の植樹を行いました。今回植樹地への看板設置を行うために、クラウドファンディング（想いに共感した方々から資金を集めること）を始めました。

期間は令和3年3月31日まで

詳しく知りたい方は下記までご連絡下さい

看板イメージ図





介護保険事業 職員募集



西和賀町社会福祉協議会では
次のとおり介護職員・ケアマネジャーを募集します。

業務内容	「デイサービスにしわが」での介護業務 1名
募集人数	「ケアプランにしわが」でのケアプラン作成業務 1名
勤務地	福祉協議会湯田支所 悠々館デイサービスセンター
給与	当法人規程に基づき支給（賞与年2回・社会保険・交通費等）
資格	普通自動車免許（必須）・資格者保有者優遇 ※未経験者歓迎
就業時間	8:30～17:15（原則）
待遇	正規職員への登用あり
休日	4週8日、1週2日を下回らない範囲で所属長の指定 年次休暇有

応募締切

採用試験申込書を令和3年3月26日（金）までに本会へ提出ください。
なお、試験申込書については本会へ請求願います。

採用予定

令和3年4月1日（木）から

※申込期限が過ぎても、随時募集しております。

在宅福祉情報誌

令和3年3月15日発行

わっこ

西和賀町社会福祉協議会

〒029-5512 西和賀町川尻 40-73-82

☎0197-84-2161 ☎0197-82-3572

ホームページ <http://nishi-shakyo.net/>

できて20年の業界

かつては家族が行っていた介護。主に低所得者、身寄りのない人を中心、行政の判断により介護が提供されていた時代が長く続いていました。

2000年の介護保険制度の開始により利用者は自分で介護サービスを選べるようになり、介護保険サービスを利用する人も増え、国は介護改正を重ね、現在では安心できる介護サービスが提供されるようになりました。介護保険は、公的サービスであるため、「利益や収入を得る」より「人の役に立つ、社会に役に立つ」業界といえます。

携わるサービスや職種

大きく分けると直接介護をする仕事と間接的に介護の仕事をする

介護の現場としくみ

る業務があります。

介護は、かつては家族が介護を行っていたこともあり、誰にでもできる仕事と言われた時代もありましたが、今では、介護の仕事は高齢者の生き方や命に向き合う専門性が求められる仕事という認識に変化してきています。

各事業所の運営をスマーズにする事務職は、職員が安心して介護サービスを提供するためになくてはならない仕事といえます。

職場環境は

改善されています

介護は、活動の場が人目に触れることが少ないので、社会に見えにくいという特性があり、一昔前には、介護の3K(キツイ・キタナイ・キケン)というマイナスイメージでしたが、今は、職場の環境の改善が進み、専門的な介護知識と技術を学ぶこ

福祉の動き

とで「より楽に」「より清潔に」「より安全に」介護を行える職場環境が整い始め、仕事を通じての喜びが多くあることも事実です。

仕事が大変であった分「ありがとうございます」と感謝していただいた時の喜びはひとしおです。

介護従事者確保のためにスキルアップ講座を始め「介護おとぼけ座」を3チーム編成。湯田小学校6年生・沢内中学校全校生、沢内小学校等で働く職員の有志者で、西和賀町

介護従事者確保のためにスキルアップ講座を始め「介護おとぼけ座」を3チーム編成。湯田小学校6年生・沢内中学校全校生、沢内小学校等で働く職員の有志者で、西和賀町

5~6年生を対象に介護する側と介護される側という壁を越えて、『共に生きる』を支え合う世界が介護現場であることを知つてほしい、共生の世界の奥深さを感じてほしいと日々の介護現場での実話をもとに台本を作成し、お笑い寸劇として座員たちが必死に演じ、演技終了後には、生徒たちにどのように伝わったのか意見交換をしました。

この活動が、良いものになること

皆様に支えられています



西和賀町社会福祉協議会では、毎日朝夕の「デイサービスにしわが」の送迎時や「ホームヘルプにしわが」「訪問入浴にしわが」でご利用者のお宅の訪問で町内を廻っております。

特に冬期間のデイサービスの送迎で対向車の方に道を譲っていただいたり、細い道では、後退しているのを待っていただいたり、ヘルパー訪問時の駐車の際には、近隣の方のご自宅の前の駐車場に車を停めさせていただいたりなど皆様に支えられて介護サービスを事故なく行うことができております。職員一同感謝しております。

利用者の声

Kさん「香りが良くてよかつた」
Hさん「ぽかぽかして、温かい。
えがつた」
Sさん「ゆずで顔ツルツル☆」
職員「皆さん、5歳も若くなつて
顔がピッカピッカ！」
皆さん「んだべえ、んだべえ」(笑)



悠々館のアイドル「ガー子」
が一番風呂でした

利用者の声

Aさん「えがつた、また長生きでき
る。いつもありがとうございます」
Tさん「うめごど。いつもありがとうございます」
Yさん「うちの孫作つた？」
職員「うん、そうだね」(微笑む)



湯田小学校副校長が届けて
くださいました
ありがとうございました

コロナ禍でボランティアさんも
自粛で寂しいと思っていたところ。

12月21日 職員の粋な計らいで
一日限定でゆず湯入浴となりまし
た。

冬至の日にゆず湯に入ると風邪
をひかないと言われています。

今年も湯田小学校の児童の皆さん
から新米をいただきました。

毎年、湯田小学校の児童の皆さん
が、体験学習の一環として行つ
ている農業体験で地域の皆さんか
らお米作りをご指導いただき、收
穫した新米を悠々館にいただき、
利用者の皆さんは、美味しいいた
だいております。

美味しい新米 今年もありがとうございました



手前で作業しているのが
藤原君です
1年目にして貴重な体験
をしました

連日の雪に職員も大変。施設の
屋根に上がつての雪下ろし数回。
こんなに屋根に上ると、4月
に遠野市から西和賀町に結婚して
移住した藤原君は、「屋根に上がつ
ての雪下ろし、今までの生きてき
た中で初めて」と語る。

毎日降る雪に負けるもんか

お誕生日には、利用者さんの希望のメニューで昼食を提供させていただいています。その日利用している方も同じメニューでお祝いをします。

特にラーメンが大好評です。「わ
げえ時は、食いに行つたけど」「あ
あ、んめえ」満面の笑みで完食さ
れています。

お誕生日の昼食